

20028

#### 当院インターベンションセンターにおけるデータ管理

2007/01～2014/03 までおよそ 3 万件のデータ入力を行ってきた。このデータ管理は、Cardiac Report System（以下カテ台帳）を用いて管理している。カテ台帳は DICOM サーバーとリンクし、患者情報や背景、検査時の各種解析データを入力することができ、治療時における使用材料、サマリー入力など最大で 750 項目程度の入力項目があり、また治験を行った患者や造影剤アレルギー患者等は色分けし、検査、治療に関わったスタッフの名前を記録し、誰が扱ったかわかるようにしてある。さらに F/U を簡易的にでき、高い統計解析機能を有す循環器部門の専用システムである。カテ台帳入力の教育として、専属 ME 指導のもと、3 ヶ月間約 70 項目からなるレポート課題を終え、カテ室内業務ができるようになった上で、100 症例程度カテ台帳入力業務を OJT の形で修練させている。入力内容についてはオンタイム入力を原則とし、患者が入室して退室するまでの間に必要な入力と解析を終わらせ、次に残さないようにしている。また、入力内容に対しての精度維持のため、入力内容の漏れや忘れ等の入力チェックを定期的に行っている。しかし、カテ台帳への入力内容は膨大であり、カテ室 1 室に対し、入力を専門に行う ME が各部屋に一人必要であり、人材確保が必要であることが問題点である。各種機器や治療法に対するデータ管理を初め、治験や TAVI 等のデータを一括管理できるようにしていき、CT 等の定量解析データの扱いについては医師と検討中であり、今後も正確なデータ入力と精度管理を行っていきたいと考えている。